

こむねび

第 47 号

理事長からのメッセージ

2020年代初頭には約25万人の介護人材が不足するという報道を毎日のように見かけます。この1年を振り返っても、人材確保の厳しさを益々感じていますが、何よりも現職員の定着率を高めることが大切なことは言うに及びません。介護の仕事を選ぶ時、「人に役立つ仕事をしたい」という志望動機が上位に位置しています。職員間で互いに支えあう職場では、仕事へのやりがいや使命感、達成感を感じている職員も少なくありませんし、職員定着率も高くなっています。介護は利用者の方に真摯に向き合い、その人生に寄り添って、人生の先輩からの教えや一人ひとりの笑顔に喜びを感じる仕事でもあります。法人としてケアの質を高める研修・資格取得等の支援体制と職員間の連携が取れる職場環境の構築に当たっていきます。そして、その支援体制を積極的に利用し、職員自らが専門職としてあるべき姿を求め、介護のポジティブな側面を自身の中で明らかにしていけるような学びをして欲しいと考えています。今後も続くであろう人材確保の困難さを、自身の使命を問い、良質なサービス提供を目指すための好機と捉え、法人、職員共に歩んでいきたいと思っています。

理事長 大屋敷 幸志

介護保険改正

2018年は介護保険と医療保険のダブル改定の年になります。この改定は「医療」と「介護」の連携強化を基に7年後の団塊世代が75歳以上となる2025年に向けたものとなっております。

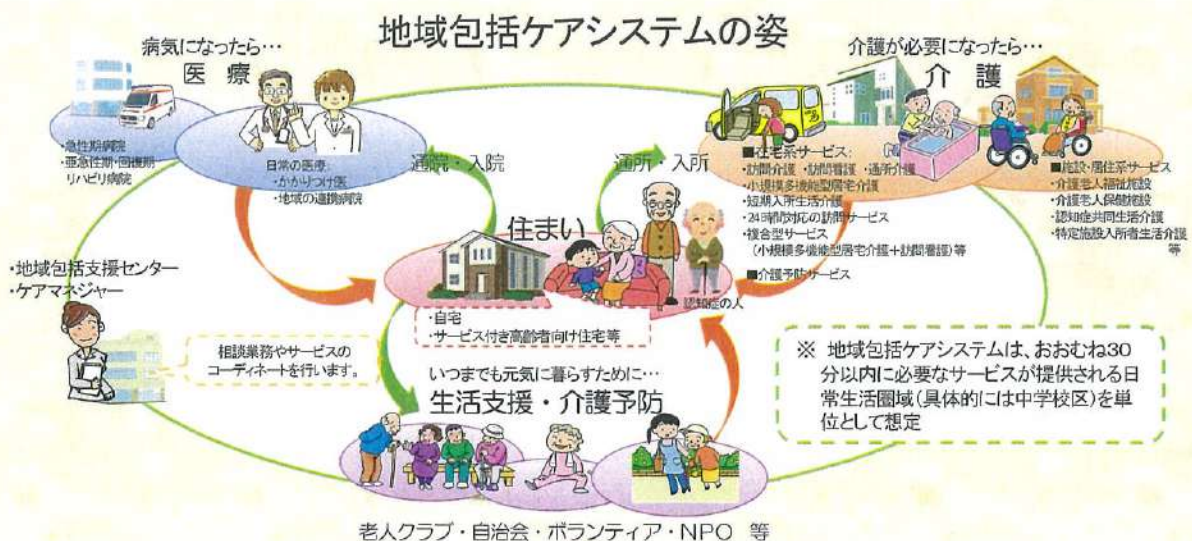
改定の大きな4本柱の内、特に ①地域包括ケアシステムの推進 ②自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現、の2項目は麗寿会が法人として取り組む中で特に注視すべき内容です。①の地域包括ケアシステム推進の中でも特別養護老人ホームでの看取り体制の充実が当法人ふれあいの森を筆頭に特養で既に取り組みを進めています。施設内外の医療職をはじめとする多職種が連携し、ご本人・ご家族と相談しながら望まれる最期を迎えるお手伝いをさせて頂いております。

また②の自立支援・重度化防止に向けては施設・在宅部門ともに以前より重視しており、介護から予防へ、予防から自立へ向かうようにご本人のお気持ちや状態を把握した上で介護プログラムを計画・実施しております。

その他、介護保険の運営の一部が国から市町村へ移管したことから生活援助の担い手の拡大が各自治体の課題となっております。麗寿会は茅ヶ崎市より委託を受け、担い手研修を開催し、地域への一助となるべく活動も行っています。

今後、介護業界は事業所の努力が評価され収入の増減に反映される制度に変化していきますが、むしろ正しい評価が下されることに私達は安堵しています。それは今まで行ってきたご本人・ご家族の意向を伺いながらご状態に配慮したケアを誇りとしているからです。

これからもより良いケアを目標に職員一丸となって取り組んで参ります。



1 理事長からのメッセージ	1 介護保険改正	2 ふれあいの麗寿
3 ふれあいの森	4 ふれあいの泉	5 ふれあいの里
6 ケアセンター茅ヶ崎元町	7 ふれあいの家 こすもす	7 ふれあいの家 みのり
8 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり	8 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず	
8 小出地区地域包括支援センターわかば	8 編集後記	

● ふれあいの麗寿

元旦、「♪年の初めのめでたさに・・・」そんな歌を口づさみたくなるような、待ちに待った、お正月です。色彩豊かな手料理に感嘆の声が沸き上がる中、ご利用者へ、理事長・施設長からのお屠蘇が振る舞われました。ご利用者からは「もう一杯お代わり!」「毎日、お正月ならいいな!」「おいしいね!」そんな会話が、山彦のように木霊してふれあいの麗寿の穏やかな一年が始まりました。

1月22日の雪の降る中、「茅ヶ崎七福神踊り隊」が来訪くださり、笛や太鼓に合わせて、七福神踊りを披露してくれました。七福神の着物の裾に触れる方「手に触れさせて!」「こっちに来て!」と普段はあまりお話されないご利用者も七福神に声をかけ、「ご自分の健康」と「ご家族の幸せ」を祈願していました。

2月3日「今年の鬼は強いぞ!」そんな節分のポスターもなんのその、七福神に守られたご利用者のパワーに、へっぴり腰で逃げ回る鬼たちは大きな笑いを振りまいていました。ふれあいの麗寿の鬼は、逃げながら笑っている、思いやりのあるやさしい鬼のようです。

2月4日お御輿渡御がありました。地元「鳥井戸御霊神社 礼大祭」の神酒所となったふれあいの麗寿では見物だけではなく楽しみ方があります。お神輿に触れたり、その前で記念撮影、お神輿を担いだ人との対話、地域の方との会話、温かなふれあいの場です。

これからも、私たち職員は、感謝と思いやりの心を大切に、地域に根差した施設を目指してまいります。



節分



七福神踊り



鳥井戸御霊神社 例大祭

ふれあいの森

茅ヶ崎市下寺尾を拠点に認知症ケアの推進に取り組んでまいりました「ふれあいの森」も今年で27年目を迎えました。

老朽化に伴い外周補修工事等を実施しておりますが、内装面においても、LED照明への変更、ソファの新調等の設備強化を実施いたしました。さらに昨年11月には、神奈川県より「特別養護老人ホームにおける多床室（4人部屋等）のプライバシー保護のための改修支援事業」についての助成金対象施設として選ばれました。

カーテンのみでの棲み分けであった多床室（4人部屋等）については、パーテーション（間仕切り）を設置したことにより、より過ごしやすい空間へと変更しております。

また一方で、市長より任命された介護相談員からのご指摘もあり、施設特有の臭い問題についても改善を試みました。改修工事と同時期に各階2台ずつ次亜塩素酸空気清浄器を導入したことにより、臭いについても改善されております。

少しずつではありますが、ご利用皆様が暮らしやすい生活の場として、より良い施設づくりを目指してまいりたいと思っております。



● ふれあいの泉

ふれあいの泉では、年末年始にかけていくつかのイベントでお楽しみいただきました。

12月25日は今泉小学校のママさんコーラスが来てくれました。日頃の練習の成果をたっぷりと披露され、とても素敵なコーラスを聴かせていただきました。子どもたちも一緒に歌ってくれて、親子のハーモニーにご入居様は目を細めて見ておられました。このように地域の皆さんと触れあえることはとても楽しみになっています。これからも定期的にお越しいただければうれしい限りです。

1月2日は今泉町内会から正月恒例の獅子舞がありました。今年も親子獅子の登場で、施設内をユニットごとに舞っていただきました。お囃子と同時に獅子が現れると驚いた顔をされる方、笑顔になられる方、怖いものを見ているような顔をされる方など、反応は様々です。でもここは縁起物、怖いながらも頭を噛まれなければなりません。中には笑って噛まれる方もいらっしゃいましたが…やはり子供獅子は「かわいい～」と人気ですね。厄を払ってこの一年の無病息災をお願いしました。

1月19日には資生堂さんをお願いをし、お化粧品教室を開催しました。もう何度か行なっているのですが、毎回好評で参加者も増えており、今回は21名の方にご参加いただきました。軽い体操から始めて、お化粧の開始となりました。さすがに皆様の手は覚えておられるようで、見事に道具を使っています。普段なかなかこのような機会はありませんので、久しぶりのお化粧でなんだかわくわくされたようです。鏡に写ったご自分の顔が若返って見え、とてもご満足されたのではないのでしょうか。

今年はとても寒い冬でした。なかなか外へでる機会が作れませんでした。これから暖かい春になります。施設の玄関廻りには春の花が準備を始めています。今年も季節を感じられるようなイベントや、地域の皆さんとの交流など、たくさんの行事で、ご入居様と職員が一緒になって楽しんでいきたいと思えます。



ふれあいの里

新年祝賀会開催

1月1日

晴れわたった青空と雪化粧した美しい富士。清々しく輝くような元旦に石川啄木さんの「何となく 今年はいい事あるごとし 元日の朝 晴れて風なし」という和歌を思い出しました。新しい年を寿ぎ、良き一年であるようにと願う心は、ずっと昔から、そしてこれからも変わらない私たちの思いなのでしょう。

光の注ぐ食堂で今年も新年祝賀会を開催することができました。式典に続き、理事長から頂くお屠蘇、厨房の方の心のこもったお節料理で晴れやかな笑顔の祝いの席となりました。

入居者の皆様にとって今年も良きひととせとなりますように。

芙蓉幼稚園との交流会

2月21日

梅の香が春の近いことを知らせてくれます。この季節は、毎年、芙蓉幼稚園の園児の方との楽しい交流会がもたれます。入院されている方が多く寂しかった里に、今年もとびきりの笑顔と、里に響きわたる歌声と演奏を届けてくださいました。冬休みの宿題だったとか、宮沢賢治さんの「雨ニモマケズ」の暗誦は全員、一言一句間違えることなく、みごとな発表でした。

「いつまでもお元気で」と小さな体に抱きしめられた柔らかな感触は、入居者の皆様の心と体にあたたかな幸せを残してくださいました。幼い方の活力と優しさあふれたプレゼントに改めて感謝申し上げます。

3月3日、包括支援センターみどりの秋山さんによる「シニアライフを楽しもう」をテーマに「いきいき健康講座」が開かれました。教えていただいた楽しく過ごす方法に少しずつチャレンジし、穏やかで潑刺とした里の生活を紡いでまいりましょう。



● ケアセンター茅ヶ崎元町

ケアセンター茅ヶ崎元町で行われている居宅支援事業所のご利用者の家族会について紹介します。

この家族の会は、平成25年3月よりご自宅で介護している方達が孤独になってしまう現状を少しでも打開できるように、当初は茶話会という形で情報交換の場としてきました。その後看取り・施設利用・施設見学などテーマを設定し会を定期的に運営してきました。

今年の3月には「これからの医療と介護について」というテーマで初めて外部の方を招き保健所の方のお話を聴きました。

家族の集いが、当初の目的だけでなく、地域で生活している人として必要となる情報提供をする場ともなり、より発展した集いとして今後も様々な取り組みをしていきたいと考えています。



ふれあいの家 こすもす

今年も新しい年が始まりました。

新年元旦よりおいしいおせち料理を食べ元気な一年の始まりです。

風にも、雪にもインフルエンザにも負けず、皆さんを是非お連れしたいとかねてから考えていた梅の花の場所へ2年越しの念願かない行ってきました。天気も良く最高～。

あっという間に2か月もすぎ初詣、どんど焼きへ出掛けたことが昨日のことのようです。どんど焼きのお団子は入居者の方が一緒に作っていただきました。焼いたその場で熱々をパクリ！とてもおいしかったよ～。

いつも参加してくださるボランティアさんには本当に助けられています。ありがとうございます。

寒さが過ぎると、いよいよ春！梅に桜・・・次から次へと花が咲きめぐる季節となり、入居者様も外出する楽しみがいっぱい増えます。お出掛け先での皆さんの笑顔を見ると私たち職員もとても嬉しくなります。今年もたくさんの春と一緒に探しに行きましょうね！



初詣



子育て支援センター ウクレレ演奏会



どんど焼き



梅の花見

ふれあいの家みのり

平成29年を締めくくる年末には餅つきをみのり敷地内にて行いました。地域の方にもご参加頂き『よいしょー！よいしょー！』とかけ声が響きました♪若い者には負けないぞ、と言わんばかりにご入居者様も普段見ることのない力を発揮していただきました。平成30年の始まりは近所の住吉神社へ初詣に行き、今年一年皆様の無病息災を祈願しました。また、みのり恒例行事である箱根駅伝大会見物にも行きました。テレビでは味わえない雰囲気の中、ご入居者様は身を乗り出し大きな声援で旗を振ってランナーを応援されていらっしゃいました。

これからも明るく楽しく、笑いの絶えない家族のような雰囲気を大切に、地域に溶け込める事業所を目指していきます！



● 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

鶴嶺西地区地域包括支援センターみどりでは平成29年度も脳活クラブを開催致しました。

脳活クラブも平成29年度で第三回目の開催となり、地域の方々に「脳活クラブに行くのが何よりも楽しみ」と言って下さる方も出てくるなど、地域の方々への知名度も段々と向上しています。

これからも地域包括支援センターみどりでは、地域に根ざした活動を行い、高齢になっても安心して住めるまちづくりに今後とも貢献していきたいと思っています。



● 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

平成30年2月16日に地域の男性向け料理教室を開催いたしました。現代の多様なライフスタイルにおいて、趣味でもあり、必要な生活スキルでもある料理を楽しむべく、6名のご参加をいただきました。そして、今回の教室では「味噌づくり」を行いました。無添加、減塩の手作り味噌を仕込み、仕込み終わった後は味噌を使ったおにぎりや豚汁を試食しながら交流し、世間話にも花が咲きました。



● 小出地区地域包括支援センターわかば

2/23、県の専門職派遣事業を活用した地域ケア会議を開催しました。講師に湘南わかば苑の作業療法士・金子先生をお招きし、主に関係事業所を対象に地域におけるリハビリ専門職の活用法を講話して下さいました。今年4月の介護保険の報酬改正も自立生活に向けリハビリや運動を積極的に取り入れることがふんだんに盛り込まれています。今後、地域の方の意向を伺いながら、自立生活の維持向上を目指した支援をより一層意識していくことを改めて学びました。



編集後記

平成29年度下期も、各事業所でさまざまな取り組みを行ってまいりました。その中でも、この度「デイサービスセンターふれあいの泉」が、神奈川県より優良介護サービス事業所として認められ「かながわ認証」(写真)を受けることができました。

この認証は①サービスの質の向上 ②人材育成・処遇改善 ③第三者評価等を評価項目とし、厳しい審査のもとに、今回県内では22のサービス事業所が選ばれました。過日の認証書の授与フォーラムでは、取組事例の発表もあり、難しい環境下前向きな創意工夫に啓発させられた次第です。これを励みに、更なる利用者・家族からの安心、地域からの信頼が得られるよう努力して参ります。

法人事務長 鳥羽 芳弘



社会福祉法人麗寿会では、行事やイベント、各施設の取り組み等を「facebook」にて随時公開しております。

麗寿会WEBページからのリンク、もしくは本誌QRコードからアクセスできますので、ぜひご覧いただくと存じます。